

## 保育実習での自己紹介の仕方 その2 －学生の準備した手づくり教材について考える－

The way of self introduction at nursery school practical (2)  
－ Hand-made teaching materials prepared by students －

寺 島 明 子  
Akiko TERESHIMA

### 1. 研究の目的

保育士養成校の学生は、保育実習に行く時、必ず子どもたちに、自己紹介をしなくてはならない。その方法として、学生が子どもたちに提供する場合、言葉を使い伝えるだけではなく、視覚から伝える教材を製作し、提供するよう指導している。それは、寺島（松本短大紀要 2006 年）によると、「学生にとって手づくり玩具は、子どもの発達過程に合わせて、身近な素材を使い製作し、人のぬくもり、温かさを伝える一つの保育方法であることが明確になった。手づくり玩具（教材）が、子どもたちにとってよい物的環境ならば、保育実習に行く学生に保育方法の一つとして、手づくりで自己紹介教材を作るように指導した」1) であった。

次に、学生が自己紹介教材を準備する保育実習の、一回目と二回目においての違いについて、研究を行った。

一回目は、寺島（日本方法学会 2007 年）によるもので、「学生が実習に向かう時、手づくり教材を準備していることで、実習の不安が解消されている、と言えないことが分かった。また学生は、自己紹介教材を準備していった方が一つの保育方法として、実習をするのにやり易いと言うことは考えておらず、実習担当の筆者が準備していくことを奨励しているので、そのことに従って準備していたのではないか、と思われた。入学してわずか7ヶ月の学生には、保育というものを理解することは難しい、と改めて理解した」であった。

二回目は、寺島（松本短大紀要 2007 年）によるもので、「学生が実習に向かう時、手づくり教材を主として準備していることで、実習の不安が少し緩和されていることが分かった。また学生は、自己紹介教材を準備して実習に臨んだ方が、一つの保育方法として、実習をすることがやり易いと、考えていることが分かった。更に、学生が製作し易い条件は、身近にお手本や材料があることで、製作していくことが分かった」3) であった。

つまり、学生の身近にお手本と材料があることで、製作していくことが必要であることが分かったので、簡単に安くできるペーパーサート・紙皿・スケッチブック・うちわの材料で、製作した教材を見せながら作り方を伝え、製作させ実習に臨ませるように考えた。

以上のことを踏まえ、筆者は学生に保育実習指導において、自己紹介教材を製作する教授法を考案し、実践を行った。その結果学生は、4種類の自己紹介教材から何を選び、製作をしたのかについて考えることとした。

### 2. 研究の方法

松本短期大学幼児保育学科1年の保育実習（1）を履修した学生を対象にして、2007年10月に

アンケート調査を実施した。配布数は1年生43人にし、回収人数は42人で、回収率は98%であった。

学生の実習経験は1年時の7月に、幼稚園教育実習を5日間行った。その後1年生の2月に実習する時に使う自己紹介教材を、9月に製作してもらい、その後10月に43人にアンケート調査方法を用いて行ったものである。

- ①目 的：質問紙の「自己紹介教材を作ってみよう」に答えて貰い、学生がどのように捉えているのかを、明らかにする。
- ②調査内容：自己紹介教材の種類について、アンケート調査し、分析した。
- ③調査期間：2007年10月
- ④方 法：アンケート調査の目的を理解してもらい、質問紙を配布し、回収した。
- ⑤回 収 率：配布数 1年生 43枚    回収数 42枚    回収率 98%

### 3. 結果及び考察

#### (I) 自己紹介で作った教材名

「自己紹介で作った教材名は何ですか」について、該当する項目に、丸を付けてもらった。表1は「自己紹介で作った教材名」である。

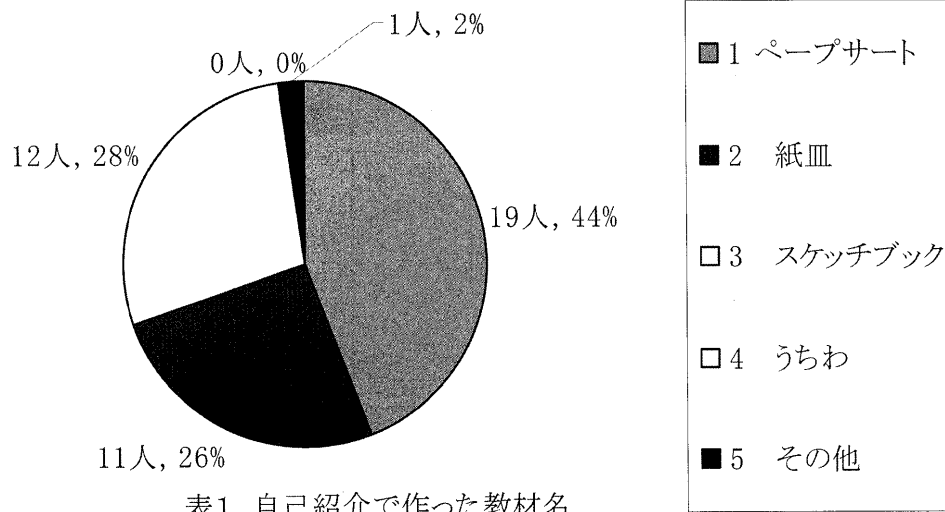
表1を整理してみると、第1位は「ペープサート」が19人で、全体の44%であった。第2位は「スケッチブック」が12人で、28%であった。第3位は「紙皿」が11人で、26%であった。4位は「その他」が1人で、2%であった。第5位は「うちわ」が0人で、0%であった。

学生がなぜペープサートを、一番多く製作したのか、考えてみた。ペープサートの材料は、紙と割り箸であり、それらは学生の生活環境の中に有ったことと短期間に簡単に製作できる、と考えたのではないかと思う。第2位はスケッチブックで、第3位は紙皿であったが、両者とも紙であり、扱い易い素材であるため、これらを使い製作した、と言えよう。第4位は1名で、紙芝居とペープサートを組み合わせて、製作していた。これは学生が、創意工夫した教材であった。第5位はうちわで0人でした。筆者はうちわをたくさん持っていたので、この材料で自己紹介教材を製作して、学生に見せたが、学生はうちわの材料を持っていず、製作することができなかった、と思う。

したがって学生は、自分自身の生活の身近にある紙と割り箸の材料で、短時間に簡単にできる、ペープサートの自己紹介教材を、一番多く製作していたことが分かった。

表1 自己紹介で作った教材名

番 号	項 目	人 数
1	ペープサート	19
2	紙 皿	11
3	スケッチブック	12
4	うちわ	0
5	その他	1



## (2) 上記(1)の自己紹介教材の種類を、選んだ理由

「上記(1)の自己紹介教材の種類を、選んだ理由」について、該当する項目すべてに、丸を付けてもらった。表2は「自己紹介教材の種類を、選んだ理由」である。

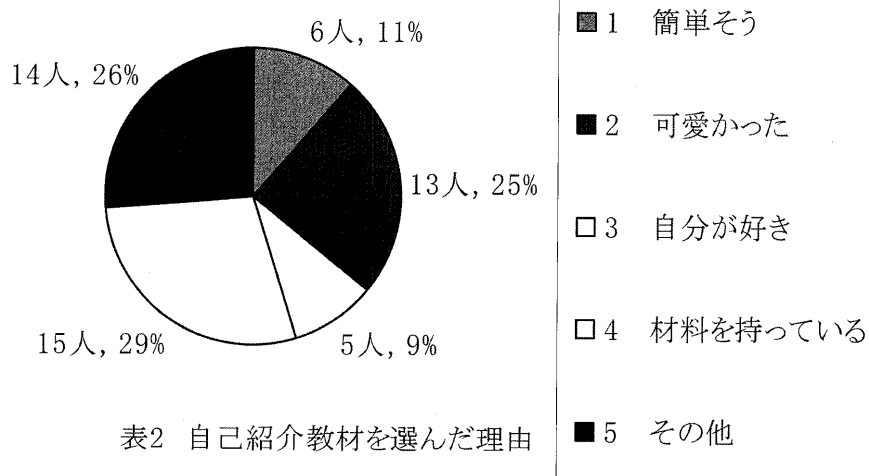
表2を整理してみると、第1位は「材料を持っている」15人で、29%であった。第2位は「その他」14人で、26%であった。第3位は「可愛かった」13人で、25%であった。第4位は「簡単そう」6人で、11%であった。第5位は「自分が好き」5人で、9%であった。

第2位の内訳は、「伝え易い」、「面白い展開ができそう」、「今までやったことが、なかったから」、「やり易い」、「面白いと思って、やってみたかった(紙芝居とペープサート)」、「真っ白く、何もないところから作れる(スケッチブック)」、「やってみたかった(スケッチブック)」、「やり易そう」、「作りやすそうだったから」、「見易いと思った」、「幼稚園実習で、友達が作っていて素敵だったので」、「楽しい」、「わかり易い、と思った」、「面白そう、だった」、「多く作らなくていいし、持ち運びが楽」であった。

したがって学生は、材料を持っているから作っていることが分かった。次に、筆者の作って見せた教材が、可愛く見えたので、製作していたことが分かった。よって学生には、どのようなものを製作すればいいのかを、理解させるために、実物を見せることで、製作意欲が湧いてくることが分かった。そこで学生に自己紹介教材を準備させるためには、見本を見せ製作させることが、必要であることが分かった。さらに学生が製作してみようと思えるのには、「簡単に製作できそう」と思えることも、大切なことであることが分かった。

表2 自己紹介教材を選んだ理由

番 号	項 目	人 数
1	簡単そう	6
2	可愛かった	13
3	自分が好き	5
4	材料を持っている	15
5	その他	14



### (3) 自己紹介教材を製作した時の気持ち

「自己紹介教材を製作した時の気持ち」について、該当する項目すべてに、丸を付けてもらった。表3は「自己紹介教材を、製作した時の気持ち」である。

表3を整理してみると、第1位は「子どもに自分の名前が、伝わるように作った」31人で、50%であった。第2位は「子どもにどのように演じたら伝わるのかを、考えながら作った」14人で、23%であった。第3位は「子どもの顔が浮かんできて、ドキドキワクワクして作った」と「子どもが楽しく自分の名前を聞いてくれるだろうか、不安で作った」7人ずつで、11%であった。第5位は「その他」3人で、5%であった。その内訳は「絵を見て子どもが分かってくれるかな、と思いながら」、「子どもが楽しみながら、自分の名前を覚えてくれればいい、と思っていた」、「子どもにちゃんと答えが分かるのか、不安だったが、楽しんでもらえればいいな、と思い作った」であった。

したがって学生は第1位に「子どもに自分の名前が、伝わるように作った」が31人で、全体の半数の学生が、「子どもに自分の名前が、伝わって欲しい」と願い製作していることが分かった。これは学生が実習に行って行う、実習の最初の部分実習の課題であるので、学生にとって失敗は許されないのである。なぜならば自己紹介は10日間の実習のスタートの部分実習であり、実習が成功するのかわからないのか、にかかわる大きな課題の一つであるからである。

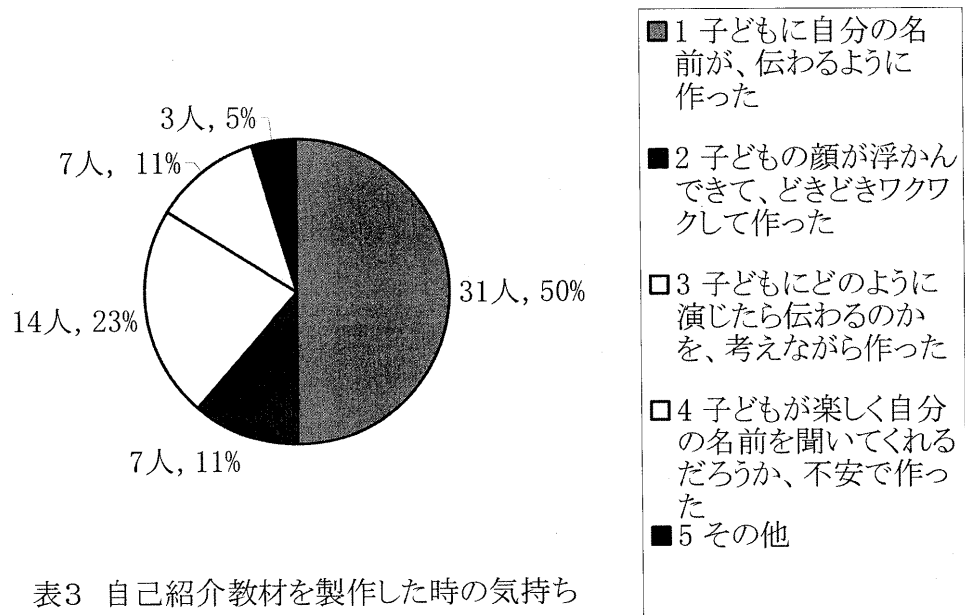
次に第2位に「子どもにどのように演じたら伝わるのかを、考えながら作った」が14人であったが、これも実習では大切なことである。自己紹介教材を自ら準備したとしても、子どもに伝わらなかった場合、自己紹介の部分実習のねらいである「子どもに自分の名前を覚えて貰い、実習をや

り易くする」ということが、達成できないからである。

第3位には、「子どもの顔が浮かんできて、どきどきワクワクして作った」と「子どもが楽しく自分の名前を聞いてくれるだろうか、不安で作った」と言う裏腹な思いで、製作していることも分かった。

表3 自己紹介教材を製作した時の気持ち

番 号	項 目	人 数
1	子どもに自分の名前が、伝わるように作った	31
2	子どもの顔が浮かんできて、どきどきワクワクして作った	7
3	子どもにどのように演じたら伝わるのかを、考えながら作った	14
4	子どもが楽しく自分の名前を聞いてくれるだろうか、不安で作った	7
5	その他	3



#### (4) 自己紹介の材料費

「自己紹介の材料費」について、該当する項目に、丸を付けてもらった。表4は「自己紹介の、材料費」である。

表4を整理してみると、第1位は「200円」10人で、24%であった。第2位は「0円」8人で、20%であった。第3位は「300円」7人で、17%であった。第4位は「100円」6人で、15%であった。第5位は「500円」4人で、10%であった。第6位は「400円・1,000円」各2人ずつで、5%であった。第7位は「600円・1,200円」各1人ずつで、2%であった。

したがって学生は、表4の自己紹介の教材費からわかるように、200円が一番多く、次の0円は自分の家にあったから、それを利用したので、今回は一銭もかからなかったのである。以上学生一人当たりの教材費の平均は、約276円であった。

つまり学生は、一人約300円位の教材費を準備し、製作していたことが分かった。

表4 自己紹介の材料費

番 号	項 目	人 数
1	0 円	8
2	100 円	6
3	200 円	10
4	300 円	7
5	400 円	2
6	500 円	4
7	600 円	1
8	1,000 円	2
9	12,000 円	1

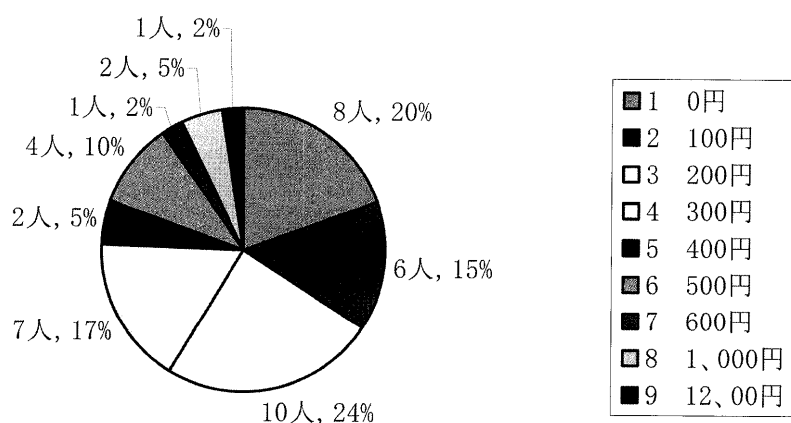


表4 自己紹介の材料費

## (5) 松本短大入学前に、手づくりしたもの

「松本短大入学前に、手づくりしたもの」について、記述してもらった。表5は「松本短大入学前に、学生が手づくりしたもの」である。

表5を整理してみると、第1位は「絵本」7人で、16%であった。第2位は「名札」4人で、9%であった。第3位は「エプロン」3人で、7%であった。第4位は「マスコット・フリース」各2人ずつで、5%であった。第5位はその他で、製作したものは一種類1人ずつで、63%であった。その内訳は、「名称不明」、「紙の名札」、「牛乳パックの絵本」、「牛乳パックのパズル」、「自己紹介絵本」、「実習用名札」、「絵合わせ」、「物差し入れ」、「テーブルクロス」、「キーホルダー」、「お菓子の家」、「野球セット」、「びっくり箱」、「雑巾」、「部活のはちまき」、「服」、「カバー」、「籐籠」、「ティッシュ入れ」、「クッションカバー」、「ナフキン」、「自己紹介絵本」、「紙芝居」、「ペープサート」、「おもちゃ」、「飛行機」、「剣玉」、「マスコット」であった。

したがって、学生は色々の物を製作しているが、絵本を一番多く製作していることが分かった。

表5 短大入学前に手づくりしたもの

番 号	項 目	人 数
1	絵 本	7
2	名 札	4
3	エプロン	3
4	マスコット・フリース	2
5	その他各1名ずつ	28

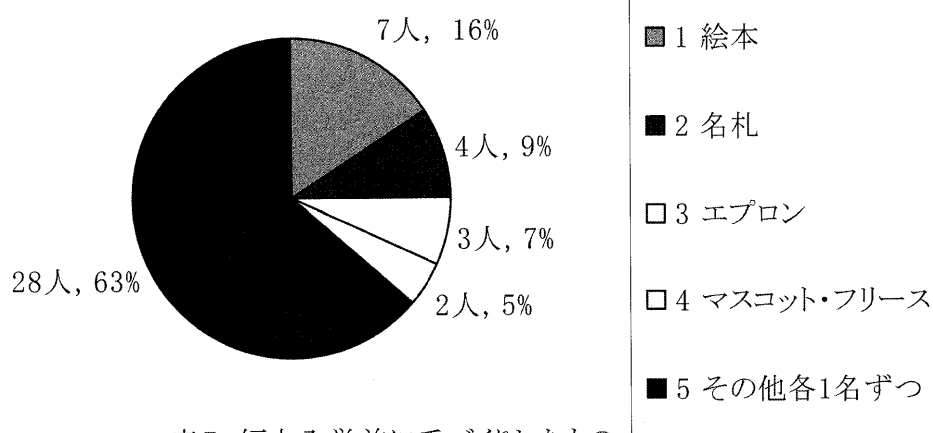


表5 短大入学前に手づくりしたもの

## (6) 手づくりした場所は、学校の授業か自宅別

「手づくりした場所は、学校の授業か自宅別」について該当する項目に、丸を付けてもらった。学校の授業では21人で、自宅は8人で、無記名は13人であった。

学生は授業で自宅よりも、3倍近く多く製作していることが分かり、自宅で製作するということは、少ないことが分かった。

したがって学生には、授業の中で製作していく演習を、取り入れていかななくてはならないのではないかと考えた。

## (7) 松本短大入学後に、授業以外で、手づくりした教材

「松本短大入学後に、授業以外で、手づくりした教材」について、記述してもらった。表6は「松本短大入学後に、授業以外で、手づくりした教材」である。

表6を整理してみると、第1位は「名札」15人で、28%であった。第2位は「ペープサート」10人で、19%であった。第3位は「パペット」5人で、10%であった。第4位は「エプロンシアター」3人で、6%であった。第5位「エプロンを使った自己紹介もの」・「自己紹介（幼稚園実習の時）」・「スケッチブックのペープシアター」2人ずつで、12%であった。以下は1名ずつで、25%であった。それは「手品の道具」、「自己紹介（画用紙を使って）」、「いない、いない、ばーあ」、「自己紹介教材（スケッチブック）」、「フェルトのおもちゃ」、「大きな自己紹介絵本」、「フェルト絵本」、「大きな絵で折り紙」、「パクパク人形」、「指人形」、「しまじろう変身セット」、「パネルシアター」、「雑巾」、

「ミッキーマウスセット」で、あった。

したがって学生は、名札を製作している人が、一番多いことが分かった。

表6 短大入学後に授業以外で、手づくりした教材名

番 号	項 目	人 数
1	名 札	15
2	ペープサート	10
3	パペット	5
4	エプロンシアター	3
5	エプロンを使った自己紹介・自己紹介（幼稚園実習の時） スケッチブックのペープシアター	各 2
6	手品の道具・自己紹介（画用紙を使って） （いない、いない、ばーあ）・自己紹介教材（スケッチブック） 自己紹介教材（スケッチブック）・大きな自己紹介絵本 フェルト絵本・大きな絵で折り紙 パクパク人形・指人形・しまじろう変身セット パネルシアター・雑巾・ミッキーマウスセット	各 1

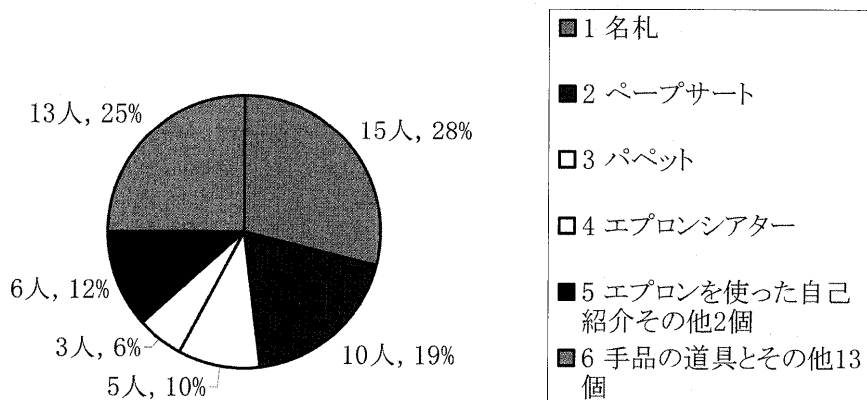


表6 短大入学後授業以外に手づくりした教材

#### 4. 全体の考察

学生の製作した教材について研究してきた結果、学生が自己紹介教材の製作で一番多かったのは、ペープサートであった。その原因は、表2に示している通り、第1位は、学生が「ペープサートの材料を持っている」。第2位は、筆者が製作して見せた教材が、「可愛く見えたので製作してみた」であった。

それらを製作している時、表3では、「学生は子どもに自分の名前が伝わるように作った」が31人で、全体の半数の学生が、子どもに自分の名前が、伝わって欲しいと願い、製作していることが分かった。さらに、自己紹介の材料費について、表4では、学生の教材費は一人平均276円で、約300円位の教材費を準備し、製作していたことが分かった。

学生が短期大学入学前に製作していたのは、絵本で42名中7名であった。入学後授業以外で製作していた物は、名札で15名であった。これは7月の幼稚園実習の時使用したものであろう。さ



らに製作した場所において、学校か自宅では、学校の授業内で製作したのは、自宅よりも3倍弱、製作していることが分かった。

したがって学生の教材作りでは、学生にどのようなものを製作すればいいのかを、理解させるために、実物を見せることが必要であり、材料費は200円から300円位で、簡単に製作でき、製作する場所は、学校の授業で、90分は必要ではないだろうか。

## 5. 今後の課題

今後は学生が、授業で自ら製作した自己紹介教材を、保育園の実践の場（2007年2月）に披露することになっているので、その時、「自己紹介教材を製作して、実習に臨めば、実習がやり易いと感じるのか」、を学生からのアンケートと聞き取りから調査研究をし、実習の事前指導の教授方法の一つになるのかを、検証したい。

### ・引用文献

- 1) 寺島明子 松本短大紀要 15号『学生のイメージする「既成玩具と手づくり玩具」に期待している点—アンケート調査から分析—』2006年 p79～87
- 2) 寺島明子 第43回日本方法学会「保育士養成機関における保育実習（Ⅰ）の自己紹介の仕方—学生の準備した手づくり教材について考える—」2007年 p44
- 3) 寺島明子 松本短大紀要 16号「保育実習（Ⅱ）の自己紹介の仕方—学生の準備した手づくり教材について考える—」2007年 p165～182

## 資 料

「自己紹介教材を作ってみよう」で、下記の項目に答えて下さい。

担当者 寺島 明子

(1) 自己紹介で作った教材は、何を選びましたか。当てはまるもの一つに、○を付けて下さい。

1. ペープサート      2. 紙皿      3. スケッチブック      4. うちわ  
5. その他\_\_\_\_\_

(2) 上記のような自己紹介教材を、選んだ理由について、答えて下さい。当てはまるものすべてに、○を付けて下さい。

1. 簡単そう      2. 可愛かった      3. 自分が好き      4. 材料を持っている  
5. その他\_\_\_\_\_

(3) 自己紹介製作をどのような気持ちで、製作しましたか。当てはまるものすべてに、○を付けて下さい。

1. 子どもに自分の名前が、伝わるように作った。  
2. 子どもの顔が浮かんできて、ドキドキワクワクして作った。  
3. 子どもに、どのように演じたら伝わるのかを、考えながら作った。  
4. 子どもが、楽しく自分の名前を聞いてくれるだろうか、不安で作った。  
5. その他\_\_\_\_\_

(4) 自己紹介の材料費はどの位ですか。当てはまるものに、○を付けて下さい。

1. 100円      2. 200円      3. 300円      4. 400円  
5. 500円      6. その他\_\_\_\_\_円

(5) 松本短大入学前に、手づくりした物は、ありますか。下記に書いて下さい。

1. \_\_\_\_\_ 2. \_\_\_\_\_ 3. \_\_\_\_\_ 4. \_\_\_\_\_

(6) 上記(5)の製作した場所について答えて下さい。当てはまるものに、○を付けて下さい。

1. 学校に授業      2. 自宅

(7) 松本短大入学後に授業以外で、手づくりした教材はありますか。下記に書いて下さい。

1. \_\_\_\_\_ 2. \_\_\_\_\_ 3. \_\_\_\_\_ 4. \_\_\_\_\_

ありがとうございました。